

令和8年3月10日
全日本学生ボードセーリング連盟（JUBF）
2025年度安全対策委員長 高平涼太

全日本学生ボードセーリング連盟安全講習会のご報告

3月10日に浜松市の会議室において全国の学生安全委員22名が集まり、安全体制強化のための安全講習会を実施いたしました。また、講習にはJWA（日本ウィンドサーフィン協会）様、御前崎海上保安署様に、ご協力・ご参加をいただきました。

御前崎海上保安庁様からは、事故に関する事例、低体温症、船舶使用上の注意などについてご講演いただきました。

JWA様からは、低体温症や緊急時の動き、フィジカル管理などについてご知見をお話いただきました。

JUBFからは、全国共通の練習や大会運営における安全対策について情報共有を行いました。

今回の講習を通して、安全に関する知識はもちろんのこと、自分たちが安全委員であるという自覚を改めて深めることができました。また、多くの方々に支えていただきながら活動できていることを実感いたしました。これを機に、より一層の安全体制強化に努めてまいります。

安全対策委員長所感

2026年度のJUBF安全委員の皆様には、安全委員長をはじめ地域委員の皆様が安全に対する意識や見解、必要性をしっかりと持ち、さらに全国各地の異なる浜を利用する上での安全対策を皆で共有する体制を整えていただきたいと思います。これによりJUBFの安全対策はさらに進歩し、有識者やJWA安全委員会の皆様のお力をお借りしながら、学生だけでは補いきれない知識を補完し、事故の少ない環境づくりにつなげていきたいと思っております。

高平涼太

JWA 野口様より

毎年学連JUBF安全委員の皆様と顔を会わせております、安全対策というものは常に進化させていくものです、過去に起きた事故事例、ヒヤリハットを生かした安全対策をしっかり引き継ぐ体制づくりは安全委員の方々との共通の課題となります。過去の鎌倉大会での事案も現役世代には事案当事の学生の姿もいなくなるこの頃、発生してしまった事案をいかに忘れずに安全対策を継承されなければならないです、そして水辺のスポーツということで低体温症はしっかり頭の中に入れておかななくてはなりません。この安全講習会はウインドサーフィンだけでなく、大会運営側になるJUBFにとっても、JWAとしても、なくてはならないものだと思います。

安全対策には動力船の運航も必要不可欠となります、学生でありながら船長という責任を負う立場になります、船長の判断ミスが2次災害、事故を起こす要因となりますので安全な運航を心掛けるための知識を御前崎保安署様から頂いたと思います。JWAと全国区の学生が共同で行う唯一の安全確認となりますので、伝えられた項目はきちんと理解し、力になってくれる有識者の方々とも共有し、各ビーチにて更なる自分達の為になる様な安全対策を作っていくてください。そして、有事の際には安全委員の方々为抓手に指示ができる体制を作る準備もお願い致します。

最後になりますが、お話をくださった御前崎海上保安署様、JWA協力医師大数加様、JWA安全委員長野口様、事務局永田様の皆様に感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

